

令和5年度 学校評価報告書（目標設定）

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<p>①進路希望の実現に向けた確かな学力の育成と生涯学習の視点に立った幅広い教養を身につけさせるカリキュラムマネジメントを行う。</p> <p>②主体的に学ぶ意欲を高めるための支援体制の充実と組織的な授業改善に積極的に取り組む。</p>	<p>①生涯学習の視点から、基礎的な知識の定着と探究的活動による確かな学力を育む。また、ICTの活用を通して新しい時代に必要とされる知識・技能を習得させる。その結果として生徒の希望進路の実現へと取り組む。</p> <p>②生徒の主体的な学習活動に結びつく学習環境の整備を行う。</p>	<p>①総合的な探究の時間では、PDCAサイクルを用いて課題を精選していく仕組みを作る。ICT活用研修を充実させ、全授業を通してのICT活用を発展させる。</p> <p>②フォローアップ週間やスタディサプリの活用を推進し、個々の生徒の学習意欲を高める。自習室の活用を促進し、1・2年生の早期利用を促す。授業改善では、各教科で短期・長期の目標を設定し取り組む。</p>	<p>①総合的な探究の時間において各生徒の課題や設定過程が発展・充実したか。ICTを活用した授業を推進・充実することができたか。</p> <p>②フォローアップ週間の講座開設や参加人数、スタディサプリアや自習室の活用度を基に主体的に学習する生徒の割合が増えたか。各教科会を経て、共通目標を設定し探究的授業展開することができたか。</p>
2	生徒指導・支援	<p>①他者を尊重し、認め合う人間性や社会性を育み、主体的な規範意識を育む。</p> <p>②生徒の主体的な活動としての部活動を支援する。</p> <p>③生徒に寄り添い、生徒理解を深めることで、心身ともに健康な生活が送れる支援を行う。</p>	<p>①「西高プライド」を意識した服装や行動などのマナーを徹底する。</p> <p>②部活動や学校行事等の全ての学校活動を通して、主体的に行動できる生徒の育成し、支援する。</p> <p>③(1)教育相談体制を充実させ、個に応じた支援体制を整備する。 (2)いじめを出さない環境づくりに努める。</p>	<p>①身だしなみを中心に遅刻、授業規律、自転車乗車マナー、SNSの使い方等について段階的かつ継続的な指導を行う。</p> <p>②生徒会本部役員会や部長会、委員会等を定期的に開催し、各クラスや生徒の意見を吸い上げ、生徒の主体的な活動を支援する。</p> <p>③(1)コーディネーター会議を充実させ、情報と方針の共有に努める。 (2)いじめアンケートや個別相談の実施はもとより、日常の生徒間、教師生徒間のコミュニケーションの充実に努める。</p>	<p>①登下校の制服着用を中心に、指導件数が減少し、地域社会の一員としての規範意識が育まれたか。</p> <p>②学校行事後や部長会等でアンケートを実施し、生徒の主体的な活動ができているか、満足できる学校生活を過ごしているか。</p> <p>③(1)コーディネーター会議の定例開催で生徒情報と支援方針の共有を図れたか。 (2)いじめの早期発見といじめの起きない環境づくりができたか。</p>
3	進路指導・支援	<p>①生徒の自己理解を深めさせ、将来に希望が持てるキャリア教育を行う。</p> <p>②社会の一員として、自己肯定感をもって社会貢献できる人材を育み、具体的な職業観を育む。</p>	<p>①幅広く経験を積み、自らの可能性を広げ、高い目標を設定できるようにするとともに、主体的に情報を収集、取捨選択し、自分自身のキャリアにつなげる。</p> <p>②自己と社会のつながりを意識させ、多様な人と協力して学びあう態度を身に着けるとともに、生涯学習の観点から、豊かな教養を身につけ、社会貢献できるような生徒を育成する。</p>	<p>①総合的な探究の時間と関連づけ、キャリア教育を計画し、相乗効果をもてるように実施する。</p> <p>②(1)昨年に引き続き各学年に明確な目標を掲げ、大学進学に対する高い目標を設定できる進路ガイダンスや放課後等を利用した体験授業等の充実を図り、キャリアパスポート等で振り返りを行う。 (2)効果的なキャリア教育活動の機会を増やし、自主的に参加・活動する習慣を定着させるととも</p>	<p>①総合的な探究の時間で得た主体的な学びが、各教科活動と進路実現の活動に生かされ、高い目標設定における進路実現ができたか。</p> <p>②(1)キャリアパスポートによる振り返りの中で、自己分析の蓄積ができているか。またその蓄積内容を行動につなげることができたか。 (2)多くの生徒がキャリア教育活動に積極的に参加し、学びの重要性を意識し、全体の進路状況がより</p>

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
			具体的な方策	評価の観点
			に、学校を職業の学び場と考え、教職を意識させる。	良く拓けたか。
4 地域等との協働	①地域との連携を深め、開かれた学校づくりに積極的に取り組む。	①(1)コミュニティースクールとなるべく地域活動を積極的に行う。 (2)生徒や保護者、地域に対して学校の情報をより多く発信・伝達し、意見要望を参考により良い学校づくりを行う。	①(1)地域貢献デー、遊 ing 西高等に多くの生徒が主体的に参加し、開かれた学校づくりを行う。 (2)ICT機器やお知らせメール・G suite の整備・活用により、生徒や保護者への速やかな情報伝達に努める。ホームページの更新回数を増やし、内容・レイアウトの工夫・改善を行い、地域や保護者、中学生に本校の良さを発信していく。また、地域との連携・協力を積極的に行うとともに寄せられた情報・意見をより良い学校づくりへ生かす。	①(1)生徒の参加人数や訪問先が増加したか。地域の方が満足できる行事となったか。 (2)ICT機器の整備状況やメール配信回数・登録者数の割合が増加したか。ホームページ更新回数とともに、内容の充実が見られたか。保護者・地域から寄せられた情報・意見により学校運営が改善されたか。
5 学校管理 学校運営	①生活全般の安全意識を高め、自らの命を自ら守る防災意識を育む。 ②豊かな心を育む環境整備に努める。	①生徒・職員の防災意識を高める指導を行うとともに、学校全体で大規模災害時の対応を検討し、災害に備えて準備を進める。 ②校内や校舎周辺の環境の整備・美化について環境整備委員、保護者や地域と連携しながら生徒の意識を高め、学校を大切にすることを育む。	①(1)年2回の防災訓練を通して、身近な防災への知識を身につけたり災害時の対応力を養成したりしていく。また、自らの命を守る行動や社会に貢献する態度を育てる。防災マニュアルを活用して職員の危機管理や防災意識を高める。 (2)防災用具等を充実させ、適切に管理・保管する。適切な使用方法について確認・共有する。 ②(1)PTAの協力を得ながら校内外の環境整備に努める。 (2)生徒環境整備委員会を中心に、適切な清掃分担に基づき計画的に校内清掃が行われるよう指導する。	①(1)防災計画に基づいて、実践的な防災訓練を実施し、生徒や職員の防災意識が高まり、有効な知識や技術を見つげられたか。 (2)防災用具等を整備し適切に管理・保管しているか。適切な使用方法について共有できたか。 ②(1)PTA環境整備委員会との連携を月1回程度取ることができたか。 (2)生徒環境整備委員会を動かし、校内各箇所が適切に清掃され環境美化意識が醸成されたか。